

平成26年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 52

千葉県立松戸向陽高等学校 全日制の課程
普通科
福祉教養科

1 選抜資料

(1) 作文	作文の評価
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書の記載事項
(3) 面接	面接の評価

2 評価項目及び評価基準

(1) 作文

評価項目	評価基準
内容の評価	テーマに即した内容で書かれているか。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	①全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 ②評定1のある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①3年間皆勤を含め、欠席日数が3年間で10日未満の場合は評価する。 ②年間の欠席が10日以上または3年間の合計が20日以上の場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	①〇の数に応じて評価する。 ②〇の数が1つ以下の場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、資格、ボランティア活動、その他の活動で、特に積極的に取り組んだと認められる記述について評価する。
オ 総合所見	特に優れた内容について評価する。

(3) 面接検査

評価項目	評価基準
面接	志願理由書の内容を踏まえ、面接官 3 名で個人面接を実施し、次のア～オの観点から評価する。面接官の各評価をもとに、面接の総合評価を数値化する。 ア 志望動機が明確かつ具体的に述べられており、その内容も適切である。 イ 入学後の抱負が明確かつ具体的で、強い活動意欲がみられる。 ウ 将来の進路目標が具体的に述べられている。 エ 応答内容から、期待する生徒像に定める要件を十分に具備している。 期待する生徒像 <普通科> 中学校生活全般にわたり真面目な取組をし、次のア及びイの要件を具備する者 ア 向学心をもち、積極的に学習活動を行うこと。 イ 次の a 又は b に該当すること。 a 入学後の部活動、委員会活動、ボランティア活動等に意欲的に取り組む強い意志があること。 b ボランティア活動や福祉に対する興味・関心があり、資格取得等に関心が高いこと。 <福祉教養科> 基本的な生活習慣が身についており、次のア、イ及びウの要件を具備する者 ア 福祉に対する興味・関心が高いこと。 イ 向学心をもって学習に臨み、ボランティア活動等にも意欲的に取り組む強い意志があること。 ウ 福祉関連分野への進路希望が強く、介護福祉士の国家資格取得への意欲が高いこと。 オ 身だしなみが整っており、面接態度が優れている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の期待する生徒像に基づき、「作文」、「調査書」、「面接」を総合的に判断して入学希望者選抜を行う。

(2) その他

- ア 自己申告書が提出された場合は、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取り扱いをすることがないように十分留意する。
- イ 入学許可候補者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による候補者数が、細部協定書の範囲内であることを確認する。